

ICT機器（タブレット端末）の整備について（R2.10.27配付資料）

1 GIGAスクール構想とは

- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ・これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



2 整備の内容

- ・児童生徒に1人1台タブレット（iPad）貸与
- ・校内無線Wi-Fi整備、高速インターネット回線の整備
- ・保管庫（電源キャビネット）、
- ・オンライン授業用のカメラ・マイク
- ・支援を要する児童生徒のための音声読み上げソフト、音声文字変換システムの購入、
- ・休校時の貸し出し用モバイルルーター



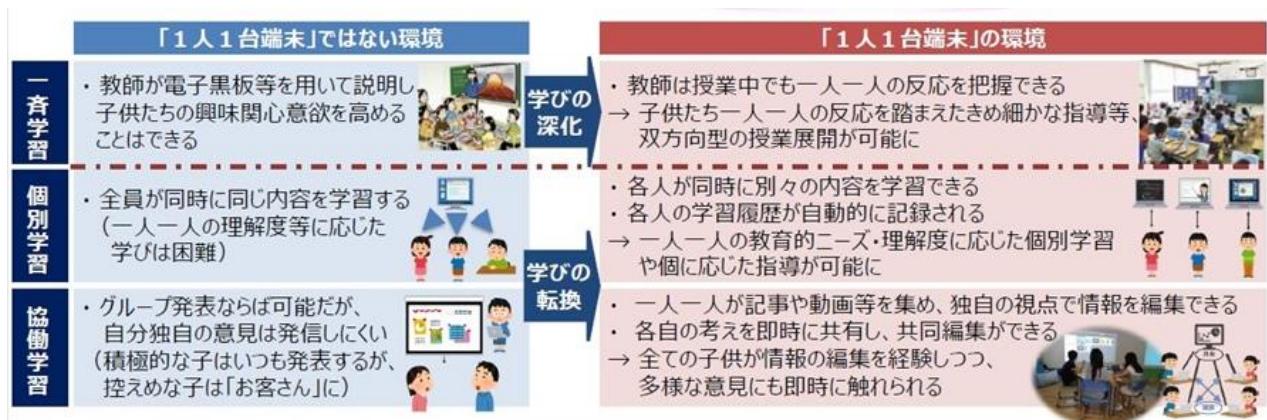
3 1人1台端末の活用・学びの変化

<端末の活用>

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。	デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。	B1 教師による教材の提示 	C1 発表や話し合い 	タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換・発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力・判断力・表現力などを育成することが可能となる。
A1 教師による教材の提示 	B1 個別学習 	B2 調査活動 	C2 協働での意見整理 	
画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	一人一人の習熟の程度等に応じた学習	インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	グループや学級全体での発表・話し合い	
B3 思考を深める学習 	B4 表現・制作 	B5 家庭学習 	C3 協働制作 	C4 学校の壁を越えた学習
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	マルチメディアを用いた資料、作品の制作	情報端末の持ち帰りによる家庭学習	グループでの分担、協働による作品の制作	遠隔地や海外の学校等との交流授業

<学びの変容のイメージ>

- ステップ1**：“すぐにでも” “どの教科でも” “誰にでも” 活かせる
インターネットで必要な情報の収集・整理、文書作成ソフトの利用
- ステップ2**：教科の学びを深める、教科の学びの本質に迫る
理科で観察実験時に動画撮影し振り返りや分析を行う
社会で各自収集したデータを持ち寄り、グループで重ね合わせ分析
- ステップ3**：教科の学びをつなぐ、社会課題の解決や一人一人の夢の実現に活かす
教科横断的、探究的な活動にＩＣＴを活用



<長岡市教育委員会としては>

タブレットの利点を生かした授業への移行を進め、児童生徒の学力の向上を目指していきます。

4 今後の予定

- ① 機材の整備について
 - ・ iPad 端末 3学期後半の納入の予定 活用は新年度から
 - ・ 校内無線 Wi-Fi、高速インターネット回線、保管庫 2学期末完成予定
※その他の機材についても準備中
- ② 各校の担当者を集めて研修を実施予定（3学期）
- ③ 活用へ向けての検討会議の実施
令和3年度導入時の計画、本市としての小中9年間を見通した活用計画を作成
- ④ 令和3年度も利用状況を把握、検証し、改善を図る